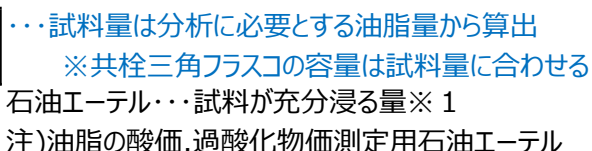
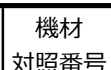


柴田科学では加工固形食品のPOVの簡易測定器から公定法の滴定分析用ガラス器具まで幅広くご用意しています。

公定法で
精度管理

固形食品からの油脂の抽出



1

時々混ぜながら約 2 時間静置

試料(固形物)を共栓三角フラスコに残しつつ
石油エーテル層を吸引しながら脱水ろ過

…吸引ろ過器に装着するろ紙には硫酸ナトリウム(無水)をのせる 2,3

2,3

石油工―テル層

試料固形

※ 1 の 1/2 量の石油エーテルを加えてかき混ぜた後、同じろ紙を用いて吸引しながら脱水ろ過

ろ液を分液漏斗に移す

4

1/2～1/3量の水で洗浄 洗浄は2回

石油エーテル層を吸引しながら脱水ろ過

…吸引ろ過器に装着するろ紙には硫酸ナトリウム(無水)をのせる 2,3

2,3

窒素を通じながら40℃以下、減圧下で溶媒除去
(抽出油をP O V分析用試料とする)

…ロータリーエバポレーターで溶媒除去

5

※基準油脂分析試験法（2003年版）等参考

機材 対照 番号	品目コード	品名・型式	機材 対照 番号	品目コード	品名・型式
1	010330-	共栓三角フラスコ	4	014260-1000	分液ロート 1L
2	A61640-	ブフナーロート形吸引ろ過器	5	051140-307	低温循環装置クールマンパル C-307
3	044770-1300	ドライ真空ポンプ Rocker300C			

抽出油の過酸化値 P O V の分析（酢酸-イソオクタン法）

分析フロー		機材 対照番号
試料採取(0.1mg単位まで)	…POV10以下 : 5g POV50以下 : 5～1g	1
↓		
200mL共栓付三角フラスコに 試料油を入れる		
↓	← 溶剤50mL…溶剤（酢酸 : イソオクタン=3 : 2 vol%）	2,3
静かに振り混ぜて溶解		
↓		4,5
窒素ガス約600mLでフラスコ内の 空気を穏やかに置換	…ガス流量計付窒素ガスを使用	
↓		
窒素ガスを通しながら ヨウ化カリウム溶液0.1mLを加える	…二酸化炭素を含まない水を用いた 飽和ヨウ化カリウム溶液 ※飽和KI溶液は分析直前に調整。作り置き不可。	3
↓		
直ちに栓をして1分連続して 円を描くように振り混ぜる		
↓		4,5,6
水30mLを加えて 栓をして5～10秒激しく振り混ぜる		
↓		
0.01mol/L チオ硫酸ナトリウム標準液で滴定	…測定液が微黄色を呈したらデンプン溶液0.5mLを加えて 滴定を続けて、測定液の青色が消失するときを終点とする ※あらかじめ空試験を行うこと ※酢酸-イソオクタン法であることを併記すること	

※基準油脂分析試験法（2003年版）等参考

機材 対照 番号	品目コード	品名・型式	機材 対照 番号	品目コード	品名・型式
1	010330-0200A	共栓三角フラスコ 200ml	4	020510-01A	駒込ピペット 1ml
2	017200-1001A	ねじ口びん赤キャップ付 100ml	5	—	スポイト（シリコンゴム製）
3	023520-50	メスシリンダー スーパーグレード 50ml	6	022510-10	自動ビュレット スーパーグレード 10ml